

大日影トンネル遊歩道・勝沼トンネルワインカーヴ

施設管理者 : 甲州市勝沼ぶどうの丘
施設所在地 : 山梨県甲州市勝沼町深沢 3602-1
調査見学時期 : 平成 29 年 12 月 1 日 (平成 29 年度地下情報化部会全国地下利用事例調査)
施設概要

トンネルワインカーヴの「カーヴ」と貯蔵庫を意味するフランス語(Cave)です。このトンネルは明治 36 年に建造された JR 東日本中央線旧深沢トンネルで、いまでもそのままの姿をとどめています。鉄道文化の遺産としても貴重なレンガ積みのトンネルは、そのままと保存され、ワインの長期熟成と付加価値を高める施設として整備されています。2005 年には土木学会選奨土木遺産と山梨県の近代産業遺産に認定されました。

温度は年間を通じて 6～14℃、湿度は 45～65%とワインの熟成には最適な条件が揃い、約 100 万本のワインを貯蔵できるようになっています。

ワインカーヴの向かいには大日影トンネル遊歩道があり、ワインカーヴとの間には、深沢川が流れています。下を覗き込むと河川用のレンガ造りのトンネルが見えます。深沢・大日影両トンネルを掘った土で谷を埋めたため、その土で川がせき止められるのを防ぐために河川用のトンネルが作られました。このトンネルもレンガ積みのトンネルです。現在、中央線の車内から、新大日影トンネルと新深沢トンネルの間で、ほんの一瞬だけこの場所が見えます。



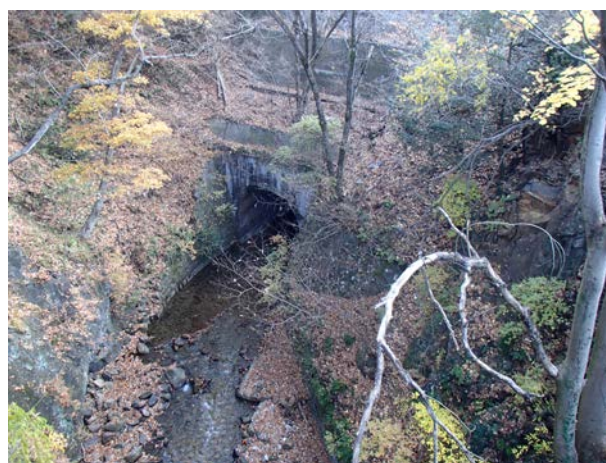
ワインカーヴ入口



内部の様子



見学した日は 11℃



河川用トンネル入り口

大日影トンネル遊歩道・勝沼トンネルワインカーヴ

施設管理者 : 山梨県甲州市観光産業部観光課(大日影トンネル遊歩道)
勝沼ぶどうの丘(勝沼トンネルワインカーヴ)

施設所在地 : 山梨県甲州市勝沼町

調査見学時期 : 平成19年10月13日

施設概要

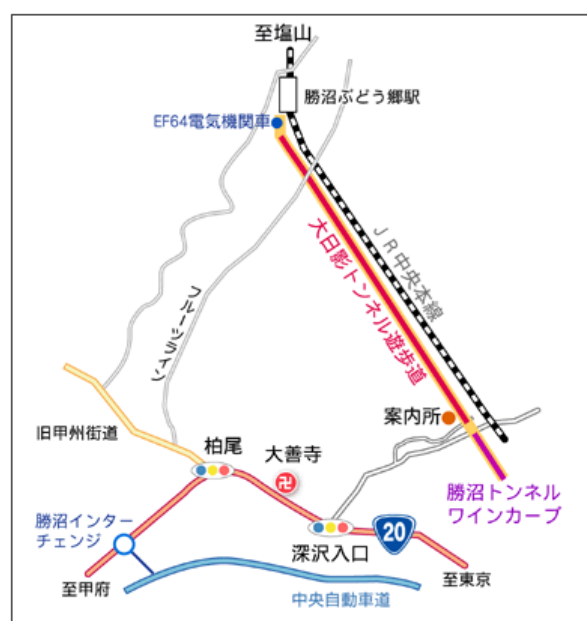
大日影トンネル遊歩道と勝沼トンネルワインカーヴは、JR 東日本から無償譲渡された2本の廃トンネルをそれぞれ有効活用した施設です。

大日影トンネル遊歩道は、貴重な鉄道遺産を後世に伝えていくため、平成9年まで使われていた中央本線大日影トンネルを遊歩道として整備したものです。平成19年3月に遊歩道の工事が完成し、同年8月に一般公開となりました。全長1,367.8m、幅3.57～3.74m、高さ4.9mのトンネル内には、レンガ壁やレール、鉄道標識などが使用されていた当時のまま保存されています。

勝沼トンネルワインカーヴは、大日影トンネルよりも東京寄りの深沢トンネル(全長1,104m)をワインの健全な長期熟成及び付加価値を高める施設として整備したものです。大日影トンネル遊歩道よりも早い平成17年5月にオープンし、ワイナリーや個人オーナーのワイン貯蔵庫として利用されています。



大日影トンネル遊歩道入り口



案内図(出典：甲州市観光連盟ホームページ)

<http://www.koshu-kankou.jp/walking/ohidaketunnel.html>



大日影トンネル遊歩道内部の状況



勝沼トンネルワインカーヴ内のワインセラー